

エコタウン通信（第4号）

町の低炭素社会の実現に向けた取組などを紹介するエコタウン通信（第4号）です。

今回は、創刊号で紹介したエコ・グリーン事業の1つ、再生可能エネルギー等導入推進基金活用事業の進ちょく、庁舎のエコオフィス化事業の視察訪問や昨年度実施した庁舎エコオフィス化改修事業による平成27年6月の二酸化炭素排出量及びコスト削減状況をお知らせします。

1 再生可能エネルギー等導入推進基金活用事業の進ちょく状況について

埼玉県に環境省から交付されたグリーンニューディール基金を活用して、災害時の防災中枢拠点や避難所になる公共施設に太陽光発電設備及び蓄電池等を整備して、災害時のテレビや電話等の通信機器、扇風機等の空調設備、携帯電話の充電サービスの提供及び照明設備の非常用電源を確保します。今回は、庁舎と総合福祉センターに太陽光発電設備10kw、蓄電池15kw及びソーラー付LED街路灯2基をそれぞれ整備します。

7月17日に指名競争による入札が行われ、小川町庁舎防災強化型太陽光発電設備等導入工事及び小川町総合福祉センター防災強化型太陽光発電設備等導入工事を（株）電成社小川支店が落札しました。

いずれも工期は、12月28日までで、平成28年1月からの稼働を予定しています。



太陽光発電設備等を整備する庁舎



太陽光発電設備等を整備する総合福祉センター

2 庁舎のエコオフィス化事業の視察訪問がありました

7月28日に熊本県阿蘇郡小国町役場職員2名が、当町が昨年度実施した庁舎エコオフィス化改修事業の視察のため来庁しました。導入した空調及びLED照明設備をはじめ、空調や照明設備を管理するビルエネルギーマネジメントシステム(BEMS・ベムス)についての情報交換や庁舎内を視察しました。小国町では、本年度、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を活用して、LED照明設備及びBEMSの導入を予定しています。円滑な導入に向けて頑張ってください。

当町の庁舎の施設見学をご希望される自治体等がございましたら、総務課までご連絡ください。お待ちしております。

3 庁舎エコオフィス化改修事業による二酸化炭素排出量(速報値)及びコスト削減状況

(1) 二酸化炭素排出量(速報値)削減状況

平成27年6月の二酸化炭素排出削減量は、4.5t-CO2となりました。

なお、削減比較は平成25年6月になります。

平成27年6月分 二酸化炭素排出量

(単位：t-CO2)

年月	電力	灯油	ガス※1	合計
平成27年6月	8.7	0.0	0.2	8.9
平成25年6月	13.3	0.0	0.1	13.4
削減量	4.6	0.0	▲0.1	4.5

★杉の木換算★

平成27年6月の二酸化炭素排出削減量は、4.5 t-CO2となりましたが、この削減量を具体的にイメージするために、杉の木の本数に換算すること…

「杉の木 約320本分」の削減効果になります。※2

(2) コスト削減状況

平成27年6月は、189,117円の削減額となりました。

平成27年6月分 コスト削減額

(単位：円)

年月	電力	灯油	ガス※1	合計
平成27年6月	441,672	0	13,639	455,311
平成26年6月	631,025	0	13,403	644,428
削減額	189,353	0	▲236	189,117

※1 表中の「ガス」は、平成25年6月はLPガス、平成27年6月は都市ガスとなります。

※2 杉の木換算

大きく成長した杉の木(樹齢50年、高さが約20~30m)は、年間約14kg-CO2の二酸化炭素を吸収するとされています。環境省/林野庁「地球温暖化対策のための緑の吸収源対策」

今回の二酸化炭素排出削減量4.5 t-CO2 (=4,500 kg-CO2)は…

$4,500 \text{ kg-CO}_2 \div 14 \text{ kg-CO}_2 = 321.4 \dots \approx 320 \text{ 本}$ となります。